



# 御堂筋 の かたり

絵・文 熱田親憲

側は板張りの高塀が長くめぐらしてあり、武家屋敷の雰囲気である。正門の門構えは2本の角柱を立てた塀重門で、扉越しに用を告げた。間もなく木戸が開き、園長の松村紀代子さんの笑顔に導かれて応接間に入った。

園内を案内してくれた。ホールになっている遊戯場は吹き抜けにした二階式回廊で、天井が高く、天窓も総ガラス張りである。中央に古風なシャンデリアを下げ、とてもおしゃれである。内庭に臨む廊下にはガラス戸がなく、ぬれ縁で陽を直接浴びることができるよう工夫してある。廊下がぬれないように軒のひさしを二重にして、雨を遮るようにしている。

## 愛珠幼稚園に見る町人魂

園長は創設の背景を語ろうか。園長は袁士元の漢詩「海棠の詩」をうかがった。園長は袁北浜から平野町までの連合町会で議員から建議が示しながら、「主人花を愛すること珠を愛すること」が如しの一節から、「幼子は全国に普及したが、こ

れからは幼児教育が必要だ。全国に率先して幼稚園を設立し、幼児保育の効果を一般に知らせようとの建議が成立して、愛珠幼稚園が生まれたのである。ここに船場町人の心意と熱心な向学心の姿が感じられる。町人からの

以前、急ぎの取材でタクシーを利用した時、運転手さんから昔からの筋金入りの幼稚園がある

「よ」と聞いていた。中央区の今橋3丁目を東に曲がって間もなく、近代的な高層ビルの中に堂々と

構えている和風建築の門前に出た。表札には「大阪市立愛珠幼稚園」とあった。西

創設は明治13年、今橋3丁目に愛珠幼稚園として開園。2回の移転で現在の地に明治34年、園舎を竣工、戦災から逃れて現存し、現役である。国の重要文化財に指定されている。

